

# 「未来医療研究人材養成拠点形成事業」における工程表

申請担当大学名	富山大学
連携大学名	無し
事業名	地域包括ケアのためのアカデミックGP養成

## ① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	<p>オール富山・地域包括ケアシステムを構築するために、大学に総合診療イノベーションセンターを設置し、アカデミックGPを養成し、養成ゾーンと実践ゾーンを一本化して、現場の課題を研究し、解決する。</p> <p>①とやま総合診療イノベーションセンターを設置し、トロント大学のCICC(Centre for Innovation of Complex Care)と提携、人材養成と研究の拠点とする。</p> <p>②人材養成では、5年間で地域医療を実践するGP20名、教育・研究・政策活動をするGP12名を養成する。</p> <p>③南砺市モデル→富山市モデル→富山県モデルという流れで、オール富山で未来型地域包括ケアシステムを構築する。</p>

## ② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
インプット ・ プロセス (投入、 入力、 活動、 行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>とやま総合診療イノベーションセンターを設置</li> <li>必要物品購入</li> <li>設立記念講演会(2013.1.16)</li> <li>募集開始</li> <li>①USMLE勉強会(8名登録)</li> <li>②ライセンス準備コース</li> <li>③ライセンス取得コース</li> <li>⑥在宅医療スペシャリストコース</li> <li>⑦ホスピタリストコース</li> <li>⑧教育⑨研究⑩コーディネート・コース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域医療臨床実習コース</li> <li>・1～6年次実習、USMLE勉強会(8名)</li> <li>②ライセンス準備コース</li> <li>・初期研修医2名登録</li> <li>③ライセンス取得コース</li> <li>・後記研修医4名新規登録</li> <li>④転職/復帰支援コース</li> <li>・募集開始</li> <li>⑤総合診療+専門科コース</li> <li>・募集開始</li> <li>⑥在宅医療スペシャリストコース</li> <li>・2名募集、登録</li> <li>⑦ホスピタリストコース</li> <li>・2名募集、登録</li> <li>⑧教育⑨研究⑩コーディネート・コース</li> <li>・4名募集、登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域医療臨床実習コース</li> <li>・1～6年次実習、USMLE勉強会(8名)</li> <li>②ライセンス準備コース</li> <li>・初期研修医2名登録</li> <li>③ライセンス取得コース</li> <li>・後記研修医4名新規登録</li> <li>④転職/復帰支援コース</li> <li>・2名新規登録</li> <li>⑤総合診療+専門科コース</li> <li>・2名募集開始</li> <li>⑥在宅医療スペシャリストコース</li> <li>・2名新規登録</li> <li>⑦ホスピタリストコース</li> <li>・2名新規登録</li> <li>⑧教育⑨研究⑩コーディネート・コース</li> <li>・4名新規登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域医療臨床実習コース</li> <li>・1～6年次実習、USMLE勉強会(8名)</li> <li>②ライセンス準備コース</li> <li>・初期研修医2名登録</li> <li>③ライセンス取得コース</li> <li>・後記研修医4名新規登録</li> <li>④転職/復帰支援コース</li> <li>・2名新規登録</li> <li>⑤総合診療+専門科コース</li> <li>・2名募集開始</li> <li>⑥在宅医療スペシャリストコース</li> <li>・2名新規登録</li> <li>⑦ホスピタリストコース</li> <li>・2名新規登録</li> <li>⑧教育⑨研究⑩コーディネート・コース</li> <li>・4名新規登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域医療臨床実習コース</li> <li>・1～6年次実習、USMLE勉強会(8名)</li> <li>②ライセンス準備コース</li> <li>・初期研修医2名登録</li> <li>③ライセンス取得コース</li> <li>・後記研修医4名新規登録</li> <li>④転職/復帰支援コース</li> <li>・2名新規登録</li> <li>⑤総合診療+専門科コース</li> <li>・2名募集開始</li> <li>⑥在宅医療スペシャリストコース</li> <li>・2名新規登録</li> <li>⑦ホスピタリストコース</li> <li>・2名新規登録</li> <li>⑧教育⑨研究⑩コーディネート・コース</li> <li>・4名新規登録</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションセンター外国人講師による講演会</li> <li>・地域包括ケアシステムの理解(富山市への講演会)</li> <li>・在宅医療の研修会の企画</li> <li>・富山市の医療ニーズの調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションセンター外国人講師による講演会</li> <li>・地域包括ケアシステムの推進(富山市への講演会)</li> <li>・在宅医療の研修会の企画</li> <li>・富山市の医療ニーズの調査</li> <li>・地域医療/総合診療の研究募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションセンター外国人講師による講演会</li> <li>・地域包括ケアシステムの推進(富山県内での講演会)</li> <li>・在宅医療の研修会の企画</li> <li>・地域医療/総合診療の研究募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションセンター外国人講師による講演会</li> <li>・地域包括ケアシステムの実践</li> <li>・在宅医療の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションセンター外国人講師による講演会</li> <li>・地域包括ケアシステムの実践</li> <li>・在宅医療の実践</li> </ul>

アウトプット (結果、出力)	定量的なもの				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療実践ゾーンへ6名輩出</li> <li>・地域医療養成ゾーンへ4名輩出</li> <li>・コース修了者</li> <li>①地域医療臨床実習コース</li> <li>・USMLE8名</li> <li>・USMLEstep1合格学生5名</li> <li>②ライセンス準備コース:2名</li> <li>③ライセンス取得コース:0名</li> <li>④転職/復帰支援コース:0名</li> <li>⑤総合診療+専門科コース:2名</li> <li>⑥在宅医療スペシャリストコース:2名</li> <li>⑦ホスピタリストコース:2名</li> <li>⑧教育⑨研究⑩コーディネート・コース:4名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療実践ゾーンへ8名輩出(H30年度8名)</li> <li>・地域医療養成ゾーンへ4名輩出(H30年度4名)</li> <li>・コース修了者</li> <li>①地域医療臨床実習コース</li> <li>・USMLE8名</li> <li>・USMLEstep1合格学生5名</li> <li>②ライセンス準備コース:2名</li> <li>③ライセンス取得コース:4名</li> <li>④転職/復帰支援コース:2名</li> <li>⑤総合診療+専門科コース:2名</li> <li>⑥在宅医療スペシャリストコース:2名</li> <li>⑦ホスピタリストコース:2名</li> <li>⑧教育⑨研究⑩コーディネート・コース:4名</li> </ul>
	定性的なもの			・富山市の医療ニーズの調査結果報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市の医療の課題研究開始</li> <li>・地域医療/総合診療の研究発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市の医療の課題研究発表</li> <li>・地域医療/総合診療の研究発表</li> </ul>
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの推進</li> <li>住民人材養成(マイスター養成)</li> <li>南砺市:40名</li> <li>富山市:80名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの推進</li> <li>住民人材養成(マイスター養成)</li> <li>南砺市:40名</li> <li>富山市:80名</li> <li>その他:80名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの推進</li> <li>住民人材養成(マイスター養成)</li> <li>南砺市:40名</li> <li>富山市:80名</li> <li>その他:80名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの推進</li> <li>住民人材養成(マイスター養成)</li> <li>南砺市:40名</li> <li>富山市:80名</li> <li>その他:80名</li> </ul>
	定性的なもの			<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育体制の確立</li> <li>・研究体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育体制の充実</li> <li>・研究体制の充実</li> <li>・地域医療コーディネート体制の確立</li> <li>・実践ゾーンでの活動の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育体制の充実</li> <li>・研究体制の充実</li> <li>・地域医療コーディネート体制の充実</li> <li>・実践ゾーンでの活動の充実</li> </ul>

### ③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	医療のパラダイムシフトの契機となるよう、従来の固定観念にとらわれることなく新たな発想で事業を実行すること。	地域包括ケアの必要性を正しく理解し、地域性と包括性を考慮した取組を行う。さらに、病院での治療が中心であった今までの医療モデルから、地域での生活も支える医療の生活支援モデルへ発想の転換を行い、その実践をする。
②	事業期間中のアウトプット、アウトカムを年度ごとに明確にし、達成状況の工程管理を行うこと。	事業評価委員会を毎期ごとに開催し、事業の進捗状況やアウトプットの評価を行う。
③	事業の実施にあたっては、一部の教員や一部の組織のみで実施するのではなく、学長・学部長等のリーダーシップのもと、全学的な実施体制で行うこと。また、事業の責任体制を明確にすること。	事業は学部長がリーダーで運営責任者となり、総合診療部長が企画責任者として実施する。さらに、地域医療の実践では、富山県や富山市等の行政組織、さらに県医師会や市医師会との連携して取り組む。
④	事業期間終了後も各大学において事業を継続されることを念頭に、具体的な補助期間終了後の事業継続の方針・考え方について検討すること。	事業終了後にも、継続できる地域包括ケアシステムを県や市の行政と連携して構築する。躯体的には、南砺市での地域包括ケアシステムの継続と富山市の“まちなか診療所”の継続が決まっている。
⑤	成果や効果は可能な限り可視化したうえで社会に対して分かりやすく情報発信すること。また、他大学の参考となるよう、特色ある先進的な取組やモデルとなる取組について、導入に至る経緯や実現するためのノウハウ、留意点、ポイント等についても情報発信すること。	毎年、事業に関わる研修会・講演会を企画して情報発信を行う。更に、HPを開設しプログラムの成果などを広く広報する。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(改善を要する点、留意事項)	対応方針
本事業の取組によって、従来の総合医養成コース以上の成果がでるよう、更なる取組に期待したい。	従来の総合医養成では、家庭医療専門医あるいは総合内科専門医の修得後のコースが準備していなかったが、このプログラムでは、いわゆるフェローシップコースとしてインテンシブコースを創設し、総合診療の中で専門性を高めるプログラムを準備する。更に、教育・研究・政策の活動の基礎を学ぶプログラムも準備する。
在宅医療への取組の充実が望まれる。	富山市からの寄附講座「富山プライマリ・ケア講座」と連携し、平成28年開設予定の在宅医療を専門とする“まちなか診療所”の運営のために、在宅医療の研修会を企画し、実践できるようにする。平成28年からは、実際に富山市での在宅医療に取り組み、さらに訪問看護や介護、リハビリのチームと連携して実践できるようにする。
地域の医療ニーズからリサーチを開始するというプログラムになるよう期待したい。	上記の“まちなか診療所”を運営するにあたり、富山の対象区域の住民に対する医療ニーズを調査する予定である。さらに、調査の結果で出された課題について、リサーチを開始する。
医学生のうちにリサーチ・マインドを教育するプログラムを用意することも望まれる。	従来の学生教育カリキュラム以外で、①プライマリ・ケアに関心のある学生の地域医療に関する調査と研究、②臨床疫学コースへの参加、③英語力を高めるためにUSMLEへの挑戦、④6年次の海外選択制臨床実習への応援等のプログラムを準備する。
養成ゾーンと実践ゾーンの一体化は重要であり、具体的方策を示すことが必要。	養成ゾーンでは、大学病院の各診療科および関連病院と連携し、実践ゾーンでは、南砺市、富山市、さらに富山県全体と連携し取り組むが、その連携の要は富山大学総合診療部が担う。